

# 施策評価表

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（課長等）	2年 7月 27日
2次評価日（部長等）	2年 7月 27日

## 1 施策の概要

施策名	健康づくりの推進	コード	3-1
この施策の主な内容	市民自らの健康づくり・健康に関する生活習慣の改善、生活習慣病・がんの発症予防、早期発見と重症化予防の徹底、感染症対策の推進、健康づくりを支援する体制の強化		
第5次総合計画におけるこの施策の目的	健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、市民一人ひとりが健康的な生活習慣の重要性について理解を深め、自分の健康は自分でつくるという自覚を持ち、健康づくりを進めることで「健康寿命の延伸」をめざす。		
担当部課	部 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 林 康範

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\* 第5次総合計画における目標指標の達成状況(前期基本計画:元年度~5年度)

施策指標名	単位	29年度	30年度	元年度			2年度	5年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 健康寿命(男性)	歳	81.82	82.12	延伸		-	延伸	延伸
指標説明	「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」の延伸 （「健康寿命」の算定方法）※厚生労働省による「日常生活動作が自立している期間の平均」（介護保険の要介護データを活用）							
② 健康寿命(女性)	歳	84.85	84.90	延伸		-	延伸	延伸
指標説明	「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」の延伸 （「健康寿命」の算定方法）※厚生労働省による「日常生活動作が自立している期間の平均」（介護保険の要介護データを活用）							

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
直接事業費	162,359	164,388	173,710	210,795
人件費	52,880	51,200	51,200	51,040
合計コスト	215,239	215,588	224,910	261,835

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\* 元年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

住み慣れた地域で、心身ともに健康で暮らせる「健康寿命」の延伸のため、市民一人ひとりが健康的な生活習慣の重要性を認識し、関心と理解を深めていただくため、栄養改善事業、健康づくり講演会等の健康づくり推進事業、地域の健康づくりを支援する体制の強化として、保健委員活動に対する支援等を行い、市民個々の健康意識の向上に寄与することができた。  
各種がん検診による早期発見、早期治療が重要であり、受診率の向上は大きな課題である。特に働く世代の受診率を向上させるための工夫が必要である。  
また、感染症の発症と蔓延予防のため、正しい知識の普及啓発に努め、接種率の向上のため引き続き各関係機関と連携し、接種しやすい体制の構築を図る必要がある。

\* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	保健委員は地区推薦を受けており、健康意識向上のため、地区をあげての事業実施ができる体制である。早期発見、早期治療のための医療施設が整っている。（岡谷市民病院等）
岡谷市の弱み	保健委員、食生活改善推進委員等、ボランティアの高齢化等により組織の弱体化がみられる。女性特有のがん検診実施機関が市内で2医療機関に限られる。

### 5 今後の外部環境の変化

\* 令和3年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>年々健康に対する関心が高まっており、運動や食事への意識も変化してきている。</li> <li>・ 有名人、著名人ががん罹患の報道</li> <li>・ 予防接種事業の定期接種化の増。混合ワクチンの開発。</li> </ul>
不利に働くもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健委員、食生活改善推進委員等の担い手不足により、地域での保健活動に支障が生じる。</li> <li>・ 少子高齢化の進行。</li> </ul>

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 令和3年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\*優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \*見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	健康は守るものからつくるものへの発想の転換を図り、健康を増進し疾病の発生を予防するためには、個々の生活習慣の改善が必要である。そのための意識改革を図るため、各種講演会やイベントなどの機会を捉えて意識啓発に努めるとともに、保健指導や栄養指導を重点的に取り組む必要がある。 各種がん検診の受診率向上により、生活習慣病等の早期発見、早期治療に繋げるための、受診勧奨の強化を図る必要がある。特に働き盛り世代の意識改革を図り、基本健診や各種がん検診の受診率を向上させるための啓発が重要である。
見直しを行う分野	

●令和3年度の優先度

\*方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費			妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	29年度	29年度	29年度			
							30年度	30年度	30年度			
							元年度	元年度	元年度			
2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)										
1	一般	なし	なし	人間ドック助成事業	人間ドック等受診件数	件	376	6,300	1,600	高い	継続して実施	B：現状維持
							378	6,315	1,600			
							406	6,630	1,600			
							410	7,650	1,600			
2	公共施設	なし	なし	保健センター管理事業	施設稼働率	%	100.0	1,326	1,280	高い	継続して実施	B：現状維持
							100.0	1,776	1,280			
							100.0	2,239	1,280			
							100.0	3,950	1,280			
3	一般	あり	なし	栄養改善事業	事業参加者数	人	1,383	450	17,360	高い	継続して実施	B：現状維持
							1,742	565	17,360			
							1,523	327	17,360			
							1,523	550	17,200			
4	一般	あり	なし	健診推進事業	がん検診の要精検者の受診率	%	88.0	46,751	4,640	高い	継続して実施	B：現状維持
							88.0	47,702	4,640			
							88.0	49,649	4,640			
							95.0	56,838	4,640			
5	一般	あり	なし	予防接種事業	対象者に対する接種者の割合(接種率)	%	50.6	101,732	9,920	高い	継続して実施	B：現状維持
							52.5	102,194	9,920			
							54.2	108,358	9,920			
							54.2	133,700	9,920			
6	一般	その他	なし	保健委員会活動支援事業	保健委員会参加者数	人	2,210	4,819	5,600	高い	継続して実施	B：現状維持
							1,853	4,812	4,400			
							1,902	4,796	4,400			
							1,902	4,783	4,400			
7	一般	あり	なし	健康づくり推進事業	事業参加者数	人	1,833	981	12,480	高い	継続して実施	B：現状維持
							1,735	1,024	12,000			
							2,546	1,711	12,000			
							2,546	3,324	12,000			
8												
9												